

九州大学総合研究博物館 ニュース

The Kyushu University Museum News

九州大学総合研究博物館に期待するもの

九州大学
総 長

梶山 千里

杉岡前総長はじめ多くの方々のご尽力で、平成12年4月に発足した九州大学総合研究博物館は、この4月から3年目の活動に入りました。設立当初は、どの組織でも直面するような様々な困難があったことと思われませんが、湯川館長や専任教官、事務職員のチームワークによって立ち上げに成功し、この2年間で多くの公開展示がなされ、資料部や協力研究員制度などの組織が確立し、学芸員資格取得のためのカリキュラムが完成したことは誠に嬉しい限りです。これも学内外の皆様方のご理解とご協力の賜と感謝申し上げます。

近年、大学による地域への貢献が様々な形で期待されています。そうした中で、大学博物館は地域に開かれた大学の窓として、その存在が大いに注目され、期待されるどころです。大学博物館による地域への貢献としてもっとも具体的な活動の一つは、学内で行われている多種多様な教育研究の内容や成果を、公開展示することです。もちろん、公開展示は学会での発表とは異なり、きわめて分かりやすく行うことが当然の条件です。それによって、地域の方々に最新の教育研究情報を提供し、その情報を総合学習や生涯教育など様々な場面で活用していただくことができます。その結果、九州大学への親しみと理解を深めていただ

けるとともに、本学の魅力を学外に大きくアピールできることとなります。

そのためには、大学博物館の呼びかけに応じて、本学の教育研究に携わる個人やグループが、規模の大小にかかわらず、あらゆる展示機会を捉えて積極的に競って成果を発表して下さることを期待しています。大学はそのような積極的な姿勢を支援していきたいと考えています。

本学の元岡地区への移転に伴い、博物館がその中心的な建物となることが予定されています。それまでに博物館が様々な経験と成果を蓄積し、完成時には、本学に収蔵されている700万点余の貴重な標本と資料を包含する、名実ともに世界的な大学博物館になることを期待しています。

3年目に入った九州大学総合研究博物館

九州大学総合研究博物館
館 長

湯川 淳一

平成12年4月に発足した九州大学総合研究博物館は、この4月から3年目の活動に入りました。現在、博物館は箱崎キャンパスのいくつかの建物に分散、仮住まいしており、公開展示は記念講堂の一部や図書館、学外の施設などで行っている状態です。しかし、杉岡前総長や梶山現総長はじめ多くの方々のご尽力により、この2年間で専任教官も充実し、博物館の基本的な活動を立ち上げることができました。また、70余名の学内兼任教官

の皆様にも標本や資料のデータベース化や展示の企画など様々な形でご協力を頂いております。これらの方々に厚くお礼を申し上げます。

この間、2回の公開展示と2回の特別展示を開催することができました。また、本年度からは、九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(P&P)の採択課題の研究成果を開学記念日を挟んだ一定期間に展示公開することになりました。さらに、初めての試みとして、農学分野の卒業論文発表会を博物館でポスター方式で一般公開させていただきました。これらの公開展示に参加して下さった多くの教職員、院生、学生の方々に深謝申し上げます。この夏休みには、基礎および応用植物学分野の公開展示が、福岡市立少年科学文化会館で開催される予定です。まもなく、福岡空港のブースでも研究成果が展示されますし、記念講堂では、本学の所蔵標本の一部の展示が始まりました。ぜひ、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

教科書にある一般的な展示はどの博物館でも見られます。しかし、多くの研究者に支えられて

いる大学博物館では、大学での研究成果を分かりやすく社会に還元する必要があると考えています。この考え方にご賛同いただき、研究内容を社会に積極的に発表して下さる方々を博物館は全力で支援させていただきます。博物館の今後の展示企画を大いにご活用下さい。

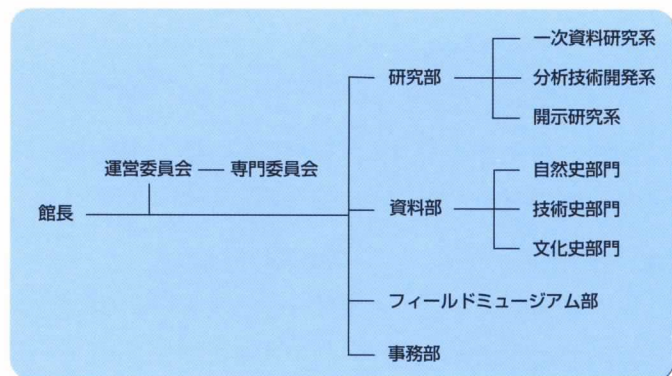
この度、九州大学総合研究博物館が、いわゆる、博物館相当施設に認定されましたので、本年度から学芸員資格取得のための理系博物館実習を学内でも実施することが可能になりました。学芸員を目指す院生や学生の受講が増加するものと予想しています。

2年間の活動を通して、博物館の存在は学内の多くの方々に認知されてきたと自負しています。しかし、学外へのアピールはまだまだです。博物館は、本学にある標本や資料を一元化してアクセスしやすいように務めますとともに、研究成果の展示公開など博物館活動を通じて、学外の人々との交流を深めたいと願っています。大学博物館の役割をご理解いただき、今後も積極的に博物館をご支援下さいますようお願い申し上げます。

博物館の組織

運営委員会委員

湯川淳一(総合研究博物館館長、委員長)
 中野仁雄(副学長、副委員長)
 有川節夫(附属図書館長)
 松尾文碩(情報基盤センター長)
 佐伯弘次(人文科学研究院)
 田中良之(比較社会文化研究院)
 山野善郎(人間環境学研究院)
 植田信廣(法学研究院)
 藤井美男(経済学研究院)
 廣田 稔(言語文化研究院)
 島田允堯(理学研究院)
 木村正人(数理学研究院)
 古野純典(医学研究院)
 名方俊介(歯学研究院)



正山征洋(薬学研究院)
 内野健一(工学研究院)
 金子邦彦(システム情報科学研究院)
 佐々木一成(総合理工学研究院)
 中園明信(農学研究院)
 畠山鎮次(生体防御医学研究所)
 柏木 正(応用力学研究所)

藤井丕夫(機能物質科学研究所)
 浦辺洋太郎(理学部等)
 総合研究博物館: 岩永省三
 松隈明彦
 中牟田義博
 中西哲也
 宮崎克典